

資料 1

法務大臣と市町村長
との情報のやりとり
等について
(法務省提供資料)

外国人登録事務市区町村代表者会議の報告について

外国人登録事務市区町村代表者会議について

- 「外国人登録事務市区町村代表者会議」は、外国人登録事務の適正かつ円滑な運営を図ることを目的として例年開催
(本年は、9月16日(水)開催)
- 法務省と市区町村との情報のやりとりについて、課題等を把握することを目的として、各都道府県外国人登録事務協議会を通じて、各都道府県の市区町村から報告を求めた。

テーマ

法務省と市区町村との間の電気通信回線を用いた情報のやりとりについて

L GWAN ネットワークの使用について

- イ. 電気通信回線を用いた情報のやりとりについて、セキュリティレベルを確保するための環境整備が必要である。
- ロ. システムの改修が必要となる場合、市町村に負担がかからないように要望する。
- ハ. 膨大な量の情報のやりとりとなると推測されるが、L GWAN で円滑な処理・対応ができるのか。回線速度も遅く、改修が必要ではないか。

バッチ処理の問題について

- イ. 翌日バッチとしたとき、情報の反映に時間がかかりすぎないのか。同日の転入・転出した場合など、何らかの支障が生じないのか。
- ロ. (仮に1日分をまとめてバッチ処理をする場合) 入管で在留期間等を更新後、直ちに市区町村にて住民票を請求された場合、一日遅れの情報に基づき住民票を交付することになるのか、それとも、持参した在留カードの記載に基づき住民票を交付することになるのか。
- ハ. 翌日バッチとした場合、1日1回の通信が発生すると仮定した場合の想定データ量はどの程度か。
- ニ. 翌日バッチによる処理については、住基ネットへのデータ通信が、原則、翌日に一括送信しているので問題はないと考える。

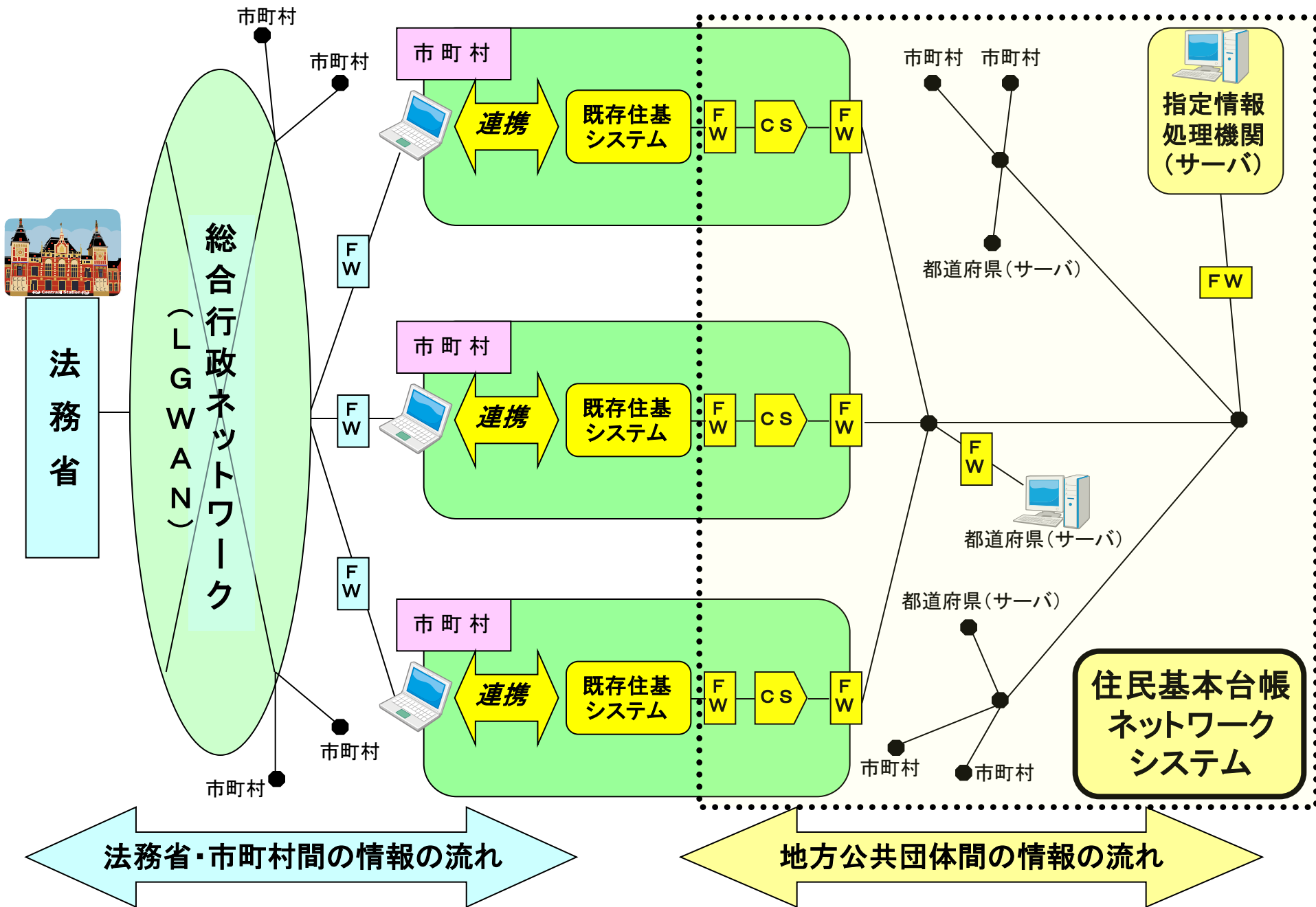
連携等について

- イ. 機器を設置するスペースの関係から、住基ネット機器と共有することを要望する。
- ロ. 毎日の処理になるので、システムの自動化や省力化になるよう要望する。
- ハ. 住基システムとの連携が直接されないと、処理データを一度記憶媒体等に落として住基システムに移す等の人為的な労力が懸念される。
- ニ. LGWAN回線の接続について、市のセキュリティポリシー上、既存住基システムとの直結は難しく、何らかの記憶媒体を用いた連携を要望する。
- ホ. 既存端末との連携方法としてはネットワークによるものではなく、記憶媒体などによる連携になると思われるが、セキュリティ上、問題はないのか。
- ヘ. LGWAN回線に常時接続を行うことには不安を感じるので、LGWAN-ASP等を利用し必要な時に必要なデータを互いにやりとりする方法を要望する。
- ト. PC端末について、法務省において仕様を決定し、市区町村が調達するという形を要望する。(その方が保守が簡単なため。) その際の調達に係る財政補助も合わせて要望する。
- チ. PC端末等に障害が発生した場合の保守・サポートや機器更改、また、Windows Update や、セキュリティパッチ等の適用・更新・管理についても対応を要望する。

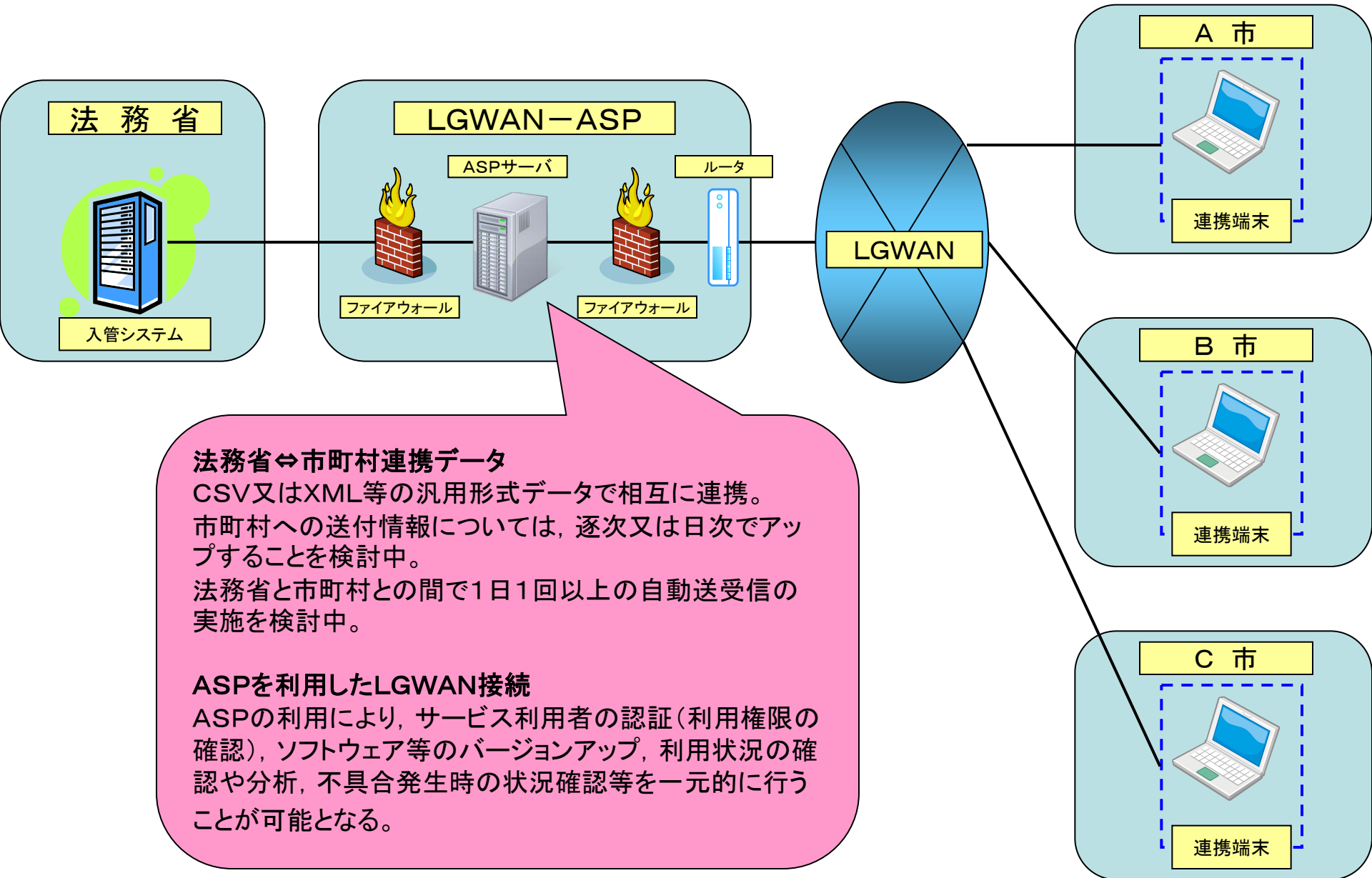
氏名の漢字表記について

新制度における氏名の漢字表記の在り方については現在両省で検討中と聞いているが、例えば思い切って日本の正字に転換していくなどの方向性につき検討することはできないか。

新制度における情報の流れ(概要イメージ)



LGWAN接続イメージ(案)



法務省⇄市町村連携データ

CSV又はXML等の汎用形式データで相互に連携。
市町村への送付情報については、逐次又は日次でアップすることを検討中。
法務省と市町村との間で1日1回以上の自動送受信の実施を検討中。

ASPを利用したLGWAN接続

ASPの利用により、サービス利用者の認証(利用権限の確認)、ソフトウェア等のバージョンアップ、利用状況の確認や分析、不具合発生時の状況確認等を一元的に行うことが可能となる。

(注)現時点において、本件に係るLGWANの活用が確定しているものではない。